



熊谷市立大原中学校

校長 小島 直樹

一 本校の沿革

昭和二十二年、熊谷商業学校の移転に伴い、跡地に熊谷市立女子高校と併置される。同年開校。昭和二十三年、市立女子高校が熊谷女子高校と併合し、大原中学校が独立校となる。生徒数の増加に伴い昭和三十七年には鉄筋三階建ての本校舎が、昭和四十一年には同じく鉄筋三階建ての東校舎が完成。一時期は千二百人の生徒が在籍。現在は二百四十名と減少傾向が続いている。熊谷市街地に位置し、県立熊谷農業高校と隣接、その東には県立熊谷高校・熊谷看護学校があり、また、すぐ前には石原小学校があるなど、文教地区にある。

二 マスコットキャラクター・校歌に係るエピソード

1 マスコットキャラクター

開校70周年を記念し、生徒会が中心となってイメージキャラクターを決めようということになり、在校生からデザインを募集した。

「おおはライオン」と命名され、このデザインには、大原中学校のキャッチフレーズである「歌声いっぱい 花いっぱい」が表現されている。地元石材店のご厚意により、石像も建立された。着ぐるみも作成したいと考えている。



2 校歌

校歌の一番で学校の風土を表し、二番ではこの学校に学ぶ生徒が意気さかんで、理想や希望に燃えて力いっぱい学べば栄光を勝ち取ることができると続き。最後に生徒に対する教師や地域の方々の大きな愛情を歌っている。卒業生ならば誰もが歌える素晴らしい校歌である。

大原中学校校歌

熊谷市立大原中学校 校歌

作詞 石坂養平

作曲 荒井敬正

- 一、学舎あまたそびえ立つ
大原の地はひろびろと
大気は澄みても豊か
われらの中学ここにあり
- 二、われらは若し意気さかん
高き理想をかかげつつ
力のかぎり学びなば
栄光とわに輝かん
- 三、春の日のごとやわらかく
われらにそそぐ愛の眼は
人の期待のしるしなり
などかはずみて報いざる



大原校舎
トンガリ屋根



新制服